

平成 26 年 3 月度わが街つくる会定例会議事録（通算 172 回）

日時：2014-3-6（木）19:30～21:00

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、奥村、堀井、中井、岡本、森川、杉中、戸所、竹吉、乾
以上 11 名

議事内容：（司会者：堀井）

1. 今日の一言（堀井）

私は昭和 25 年平野小学校に入学した。3 年の時今の地の学び舎に移った。200 名の同級生と共に学び過ごした 6 年間は懐かしく思い出される。石炭のコークスで真っ黒になっていた運動場が山土で整地され立派になった記念に大相撲がやってきて千代の山や栃錦の姿を目の前で見た時の感激は忘れ難い。敗戦で疲弊して物のない時代、自分達で伝統と文化を築けと熱心に指導して頂いた先生達の姿も懐かしい。平野再発見第 5 号の特集で平野小学校を取り上げているが、その歴史をたどるにつけ走馬灯のように若き時代が蘇る。

2. 平野市民センターの新築について（堀井）

平野市民センター建設委員会が 3 月 10 日に開催される。わが街つくる会は本委員会のメンバーとなっており、市民センターはどうあるべきかとの基本的視点からも熱心に議論してきた。これらについて整理したものを委員会で発表し、その実現に向けて努力して行く。支所機能、公民館機能に加え地域の拠点である市民センター、思いやり・憩いに場である市民センターであるべきとの考え方を重視し、協働部分（気軽に立ち寄れるサロン、団体・個人が自由交流出来る専用会議室）のスペース確保を訴えている点が目玉である。

3. 協働街づくり講座（第 3 回、最終回）参加報告（中井、岡本）

2 月 22 日（土）ふれあいプラザにて第 3 回が開催された。今回は 24 名（男 17、女 7）の参加であった。「こんな大津になったらいいな」の仕上げとなる講座で、大津市を自分達の手で、よりよい街にするためにどんな取組をして行くべきかをワークショップ形式で熱く語り合った。ただ、結論のあるものではなく、主催者側も今回の企画は市民の意識を知るのが目的としており、どう活かして行くかの展望はない。参加者が議論の手法を学べたことが収穫であったようだ。

4. われら平野探偵団からの報告（森川）

・第 5 号（特集：平野小学校）は、3/13 印刷完成、3/14 仕分け作業の後、平野小卒業生にも卒業式(3/19)に合わせ配布出来る見込みである。

- ・第6号の特集は「地図にみる平野の変遷」を予定している。
- ・広告用スポンサーの確保の努力が必要である。1号当たり発刊費用は37,000円であり、毎号40,000円分(4ページ)確保が必要。広告主の固定化を避けるため新規開拓をお願いする。
⇒ときめき坂商店街、平野商店街の協力を継続要請して行く。今後、個人スポンサーの検討もして行く。

5. 膳所駅前整備事業における地元要望への大津市回答について(岡本)
第5回事業連絡協議会(1月29日)で示された回答内容は以下の通り。

<市負担の自由通路部分>

要望	回答
① 下り用エスカレーター設置	⇒ 設置。
② 階段下公衆便所設置	⇒ 多目的1、女子ブース3か所を設置
③ 災害時備蓄倉庫設置	⇒ 有事の際は臨機応変に対応
④ クリネット手摺の採用	⇒ 通常手摺で設計
⑤ LED照明の採用	⇒ LEDを採用
⑥ AEDの設置	⇒ 駅改札口を入った所に設置
⑦ 防犯カメラの設置	⇒ 設置せず

<JR負担の駅舎部分>

① 物産販売所の設置	⇒ 現在予定なし。
② トイレブースの確保	⇒ オストメイトを男女双方に設置
③ 待合コーナーの設置	⇒ ホーム内に設置
④ 授乳コーナーの設置	⇒ 駅務室横に多目的室を設置予定

*参考情報(JR各駅乗降客数、万人)

膳所 2.5、草津 7.7、石山 5.6、瀬田 4.2、南草津 4.1、大津 3.8、野洲 2.5

6. その他

①「阪急沿線各駅悠遊1日紀行」マップについて(中井)

平野学区散策コース策定企画の参考資料にすべく、阪急電鉄が発行している「水無瀬～上牧」、「大山崎」、「六甲」、「御影」各駅の紀行マップを入手した。本マップには周辺の名所案内、周遊マップが距離表示等と共に記載されており、将来の企画立案に有益な参考資料となる

②高齢者の交通死亡事故多発について(橋本)

膳所交番の審議会に参加した折、2月に入って県下で7件も発生しており、啓発活動を強化しているとの話があった。お互いに気をつけたい。

7. 次回定例会の開催について

日時：3月20日(木)19:30～、平野市民センター。 以上(乾)